

資料 2

件名：第22回群馬県救急医療懇談会の開催について

- 1 目的 群馬県における救急医学の進歩発達をはかり、救急医療の普及発展に貢献することを目的とする。
- 2 内容 救急医療に係わる学術集会。持ち回り当番病院が事務局となって毎年開催している。(今年度は渋川総合病院が当番病院)
回ごとに演題を募集し、数十題の発表ほか特別講演等が行われる。
例年の参加者：400名程度(医師、看護師、救急救命士 他)
今年度懇談会では、パネルディスカッションを「市民公開講座」とし、一般市民に無料公開する。
- 3 事業の概要
 - (1) 日時 平成26年9月7日(日) 9:00~17:30
 - (2) 場所 渋川市民会館 大ホールほか
 - (3) 内容
 - 特別講演「奈良県及び大阪府の地域救急医療システムについて」
講師：近畿大学医学部救急医学教室、救命救急センター 教授 村尾 佳則
 - 市民公開講座パネルディスカッション「在宅医療・地域包括ケアにおける救急医療の問題点」
基調講演講師：医療法人救友会理事長、東海大学非常勤准教授 山本五十年
コーディネーター1名、パネリスト6名(渋川地区医師会・病院医師、ケアマネージャー、訪問看護師、救急救命士(消防)、行政の立場から問題点を発表していただいた後にディスカッション)
 - 一般演題発表72題
【演題】災害医療、症例1、高齢者医療、連携活動、ドクターカー・ドクターヘリ、教育・研修、臓器移植、ER・時間外診療、救急搬送、症例2、看護ケア、重症患者管理・緊急手術
 - (4) 会費 医師3,000円、その他2,000円、学生無料(学生証提示※高校生以下不可)
※13:00~の市民公開講座パネルディスカッションのみ一般参加可能(無料)
- 4 主催(当番病院等) 渋川総合病院、渋川地区医師会
 - 当番世話人 渋川総合病院 院長 横江 隆夫
 - 当番世話人 渋川地区医師会 会長 川島 理
 - 実行委員長 渋川総合病院 診療部長 内橋 慶隆